



包装工程での印字ミスを削減することで 生産効率を向上

Nicola Rapley




当社の化粧品、パーソナルケア
およびホームケア製品の
マーケティングマネージャー、
Nicola Rapleyは、
繰り返し可能な一貫性のある
高品質の印字によってブランド
価値を向上し、保護するために
プリンタが果たす重要な役割に
目を向けています。

ブランド価値や サプライチェーンの保護

化粧品業界では、ここ5年間で多くの変化が見られました。包装形式や素材の進化、利便性に対する消費者の需要に加え、男性用パーソナルケア製品の大きな成長は、そのような変化の原動力となる要因のほんの一部です。何回も切り替えることで多くの異なる製品やロットに対応すると印字ミスにつながることもあり、ブランドの評判に悪影響を与えかねません。

「多くの企業は、ブランドイメージと評判を保護しながら生産効率の向上に努めているため、正しい印字は重要なだけでなく、不可欠なものです。この資料では、最終収益に影響を与える包装材のミスを回避するために必要な基本的な留意事項について説明します。」



事業や製品の評判を守るのは簡単なことではありません。承認されていない流通ルートへの製品の横流しや偽造により、利益の減少、ブランドイメージの失墜、顧客にとってのリスク増大を招く恐れがあります。しかし、当社の先進的な印字技術と、それをサポートするソフトウェアソリューションを導入することで、サプライチェーンの管理体制を構築してそのようなリスクを低減できます。



対処療法よりも予防策の方が重要です

ビデオジェットが行った調査によると、
印字ミスの50～70%はオペレーターの操作ミス
が原因であり、最も一般的なミスは、
間違ったデータ入力やジョブの選択です。

包装工程中にさらに多くの品質確認を導入しても解決策にはならず、そもそもなぜ間違っ
て印字されるのかといった問題の根本原因は解決されません。
エラーを削減するための積極的な対策をとることで、工場の生産効率を向上し、
業界や小売の印字基準に確実に準拠することができます。

印字事故防止技術： マーキング品質への アプローチ

ビデオジェットの印字事故防止技術は、包括的で印字工程のほとんどのミスを防ぎ、排除します。ビデオジェットは、ヒューマン-マシンインターフェイス（ハードウェアとソフトウェアの両方のコンポーネントを含む）では、データ入力を簡略化し、マーキング情報の入力およびジョブ選択の両方でのオペレーターによるミス防止に役立つことを念頭に、製品設計を行っています。当社は、印字工程の構造上のフローを設計し直してオペレーターが介在する操作を最小化することで、リスクを最低限に抑えることができると確信しています。最終的には、正しい印字を正しいプリンタに自動的に配信して正しいジョブを行える仕組みが標準となるものと考えています。



成功のための 4 つのステップ

包装のミス防止に不可欠な次の 4 つの基本原則に則って印字事故を防止します。

- 1 最初に、オペレーターが正しいジョブにおいて正しいメッセージを選択できるようにメッセージ選択を簡単にすることを推奨します。
- 2 オペレーターの入力を絶対に必要なポイントのみに制限します。
- 3 事前にルールを定義してメッセージ生成をできる限り自動化し、入力ミスを防止します。
- 4 信頼できるデータソース（生産実行システム (MES)、監督管理およびデータ取得 (SCADA)、エンタープライズリソースプランニング (ERP)、その他のエンタープライズ IT システム）を使用し、オペレーターがジョブを選択したときに適切な情報がプリンタに自動的に転送されるようにします。

TEL: 0120-984-602

Email: info@videojet.co.jp

ビデオジェット社
〒135-0064 東京都江東区青海 2-5-10
テレコムセンタービル 西棟 6F

